

# 6月24日(水) 第23回裁判

## 120名 傍聴席を満席にして 私たちの願いをアピールしよう

### 午前10時開廷 前回・前々回裁判とも 傍聴席が満席

大阪地方裁判所の202号大法廷前  
伊藤事務局長、宮崎さんがいます。



5月27日、第21回裁判の報告集会

# 大阪泉南地域のアスベスト国家賠償訴訟を勝たせる会 泉南勝たせる会ニッコース

第5号

2009. 6. 8

先地域の被害者と  
連絡先  
泉南綿石市民の会

Tel. 072-483-4981

Fax. 072-484-0641

五月二十七日、第二十一回裁判では、午前に原告側の水嶋潔医師への反対尋問、午後は国側の岸本卓巳医師への尋問がありました。

裁判は七月二十九日の証人尋問終了まで二ヶ月をきりました。いよいよ最終盤です。

五月二十七日も前日に引き続き傍聴

席は満員になり、裁判官へのアピールは確かなものになったろうと思いますが、最終盤まで手を緩めずがんばりましょう。

五月二十七日、30万署名の第一回分として五万筆の署名を提出しました。アスベスト被害者の全面的な救済と被害根絶の願いを裁判所に届けました。引き続き、法廷を満員にして、30万署名達成へ、ご協力よろしくお願ひします。

## 6月24日団体代表者会議



五万筆の署名を提出

- 裁判では、
- ① 国民の命や健康よりもアスベストの有用性を最優先する国の産業政策や、
  - ② 国が早くから泉南地域の深刻なアスベスト被害を良くして知っていたこと、にもかかわらず、
  - ③ 国は有効な規制も対策も行っていないこと
- を明らかにしていきます。

### 団体代表者会議に参加してください

午後6時 中ノ島中央公会堂小会議室

三〇万署名の達成と

引き続き満員の法廷傍聴へのご協力を

### 計報

原告団の一人としてがんばってこられた佐藤健一さんが6日午前逝去されました。アスベスト被害に苦しみ、救済と被害根絶を願っての闘い道半ばでの逝去はまことに残念です。故人への哀悼をささげつつ、この思いを果たすためいっそう奮闘することを誓います。

泉南地域の石綿被害と市民の会代表 柚岡一禎

三〇万人署名を二〇〇九年秋までに

## 石綿が危険であることを知らされていれば 環境大臣への武村絹代さんの訴え

私は、原告の原田モツの娘です。母は七八歳ですが、石綿肺と続発性気管支炎のため一日中ベッドで過ごしています。母は、四〇歳の時から十五年間、石綿工場で働きたがら、五人の子どもを育てました。男勝りの性格で、職場では、一人でリングやカードなどを二役も三役もこなし、「原田さんには背中に見がある」と言われていました。そんな母が、ここ数年、病状が悪化し、数日しか歩けず、入浴はもとより、着替えも、トイレも一人ではできません。あの勝ち気だった母が、「酷い息苦れと咳の苦しみのため、「もうこれ以上の辛抱は出来ない」とか「死んで楽になりたい」と訴えます。母は、耐えきれず、救急車を呼んで病院に搬送されたことが何度もあります。週に何回も救急車を呼んだ時には、もう呼ばないで欲しい、とまで言われました。私も仕事をしながら母を介護しなければならず、疲れ切っています。

母の職場は、石綿の粉じんが粉雪のように飛び散り、真っ白で前が見えないほどでした。私も、高校生の時に訪ねたことがあります。床一面に雪のように石綿が降り積もっていました。危ないとは、誰も思わず、工場の二階には人が住んでいました。よく母と話すのですが、危険だと知っていれば、石綿工場で働くことはありませんでした。泉南には、母の他にも、石綿の病気で苦しんでいる患者や家族の方がたくさんいます。工場周辺に住んでいたり、農作業をしていて、石綿で病気になる方もいます。石綿が危険であることを知らされていれば、被害のかなりは防げたと思います。

国は、どうして、石綿が危険だと知っていたのに、そのことを知らせてくれなかったのでしょうか。母の体は元通りにはなりません。でも、せめて、今からでも、国は、謝罪と一刻も早い救済をしてください。そのことを強く訴えます。

(六月一日、環境大臣交渉における武村絹代さんの訴えより)

大阪泉南地域アスベスト国家賠償訴訟を勝たせる会  
代表 半田 秀男 様

### メッセージ

#### 一刻も早いアスベスト公害の救済を！

アスベスト公害をはじめ、一般に公害は理不尽にも何の罪も無い市民に襲いかかる悪魔の牙である。意識的隠蔽等の行為の許されざる犯罪行為は別にしても、加害者の不注意・怠慢により被害を大きくしてしまう点も一つの特徴である。被害者の苦しみを思うとき、彼らに然るべき処罰が下ると同時に被害者の救済も円滑に且つ速やかに実現されなくてはならない。

この世に生を受け、共に暮らす我らはそれを強く望んでいる。

京都産業大学理学部  
益川 敏英

半田秀男勝たせる会代表が、署名一〇〇〇筆をめざし奮闘中  
ノーベル賞の益川敏英博士からメッセージ・署名届く

## 結審まで あと4回の裁判です

## 傍聴席の満席と、30万署名の成功を

50名の弁護団は勝利のために全力をあげています。

### 今後の裁判日程 (いずれも10時開廷)

6月10日(水)

24日(水)

7月15日(水)

(14日・15日

29日(水)

午前だけでも、午後だけでもぜひ  
傍聴に参加してください。

首都圏から署名を持って大挙来阪)